

## 雨にも負けず「9の日行動」を行いました

12月11日（月）17時半、鹿児島中央駅東口

各派閥のパーティー券政治資金規正法違反のキックバック問題で、岸田政権に激震が走っています。安倍派（清和会）、二階派（志師会）に続き、岸田派（宏池会）も疑惑に包まれています。内閣の要官房長官のみならず、多くの閣僚、副大臣、政務官まで辞任ドミノが続くのではと報じられています。「岸田首相は退陣すべきだ」と訴えました。



危険なオスプレイの飛行停止を強く求め続け、米軍はやっと全世界での飛行停止を決めました。遅きに失したと言えます。10年前から米国で構造的欠陥がしてきされているにもかかわらず、日本国内を飛び続けていました。「日本政府は、オスプレイの購入を止め、佐賀空港への配備計画を断念せよ」と求めました。

ウクライナに続き、イスラエルのガザ地区への非道な攻撃で多数のパレスチナ人の犠牲が続いています。国連の戦闘停止の決議を拒否する米国の姿勢を強く非難しました。

今こそ、憲法9条の「不戦の誓い」を全世界に広げなければなりません。

当日配布のチラシも参照願います。

明年1月は、9日に「9の日行動」を、17時半から実施予定です。

